

実施報告書

令和 7年度 「校庭芝生化地域連携事業」 実施(経過)報告書

区市町村名 三 鷹

学校名 三鷹 立 大沢台小学校

1 事業目的 協議会名 大沢台小学校しいば君会議

- 芝生のメンテナンスを通して児童同士、親子、保護者同士、保護者と学校、学校と地域の方々との交流の場作り。さらに相互のコミュニケーションを図る場となっていきたい。
- ボランティア精神や芝生に関する知識を得て、環境教育につなげたい。
- コミュニティスクールから生まれた学校を中心としたコミュニティを形成する場となりたい。

2 主な取組と成果

校庭芝生維持管理は、学年ごとに子供たちのレベルに合わせた芝生の手入れを行っています。地域参加作業は夏休みを利用していましたが、ここ数年の酷暑で作業が出来ない年が続きました。昨年からは暑さを避けて秋季から冬季にかけて参加するスタイルに変わりました。コロナ禍で地域と学校の繋がりが薄くなってきたところを戻しつつ、酷暑で予定通りに作業予定が組めず、芝生管理を取り巻く環境は厳しくなっていますが、校庭芝生を使用することにより運動会や地域参加イベントにおいて、校庭芝生に対する愛着の念が湧き、「みんなで支えていく」「重い荷物はみんなで持つ」考え方は継続しています。種々のハードルを乗り越えて次世代に向けてよりよい教育環境を残す努力を続けています。

3 取組内容

- 児童による芝生メンテナンス作業(2年生)(4月22日)
- 児童による芝生メンテナンス作業(2年生)(5月1日)
- 児童による芝生メンテナンス作業(3年生)(5月8日)
- 児童による芝生メンテナンス作業(3年生)(5月20日)
- 児童による芝生メンテナンス作業(4年生)(5月29日)
- しばふのべんきょうかい(1年生)(6月10日)
- しいばくん会議(7月28日)
- 運動会(11月1日)
- オーバーシード(11月2日)
- 児童(5年生)教職員、PTAによる芝生メンテナンス作業「芝生のバンソウコウ」貼り作業(12月9日)
- 児童(5年生)教職員、PTAによる芝生メンテナンス作業「芝生のバンソウコウ」貼り作業(3月12日)



4 今後について

芝生のよい生育状態を維持していくことが一番の課題です。これは変わりません。コロナ禍で学校、PTA、地域のつながりが切れかけていたのを修復しています。さらに猛暑で以前のような作業スケジュールを組めなくなりました。これは仕方ありませんが「出来ないでなく、出来るところから始める」時勢に沿った新たなつながりを作ろうと昨年からはスタートし少しずつですが効果が見えて気がします。今後も新たな芝生を使ったイベントや講習会等、また作業自体も楽しく、遊びながら作業が進んでいくなど工夫の余地はまだまだあるように思います。芝生管理技術、知識、資材、道具、機械等の新たな情報を常に取り入れること、それらを三鷹全体に共有するために発信し続けていきます。